

第66期 中間報告書

平成23年4月1日から平成23年9月30日まで

- 1P 株主の皆様へ
グループ各社の連携を推進し、
水産物流通業界での競争優位を構築!
- 3P 財務の概況
- 5P 会社情報
株式の状況
- 6P 進化し続けるOUGグループ
新しい「水産物流通サービス業」の実現に向けて、
事業間の連携をさらに強化し、相乗効果を発揮!



代表取締役社長

谷川正俊

平素は格別のご高配を賜り厚くお礼申し上げます。

この度の東日本大震災および台風12号により被災されました皆様には、心からお見舞い申し上げますとともに、早期の復興を祈念申し上げます。

さて、当社第66期第2四半期連結累計期間（平成23年4月1日から平成23年9月30日まで）の事業および財務の概況のご報告を申し上げます。

平成23年12月

事業の経過およびその成果

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災で混乱した部品などのサプライチェーン（供給網）の復旧が進み、生産や輸出を中心に回復基調にあります。円高や海外経済の減速などの影響により、景気持ち直しのペースは緩やかになっております。また、雇用・所得環境は依然厳しく、個人消費は総じて低迷したまま推移いたしました。

水産物流通業界におきましては、先行き不安などによる消費者心理の冷え込みや生活防衛意識の高まりから購買意欲は低迷し、低価格志向が浸透したまま販売競争が激化するなど厳しい経営環境下にありました。

このような環境にあって、当社グループは、全体最適のグループ経営のもと、販売力・調達力の強化、顧客起点志向の追求、地域に対応したソリューションの提供、業務の効率化、諸経費の節減などに注力し積極的な事業活動を展開してまいりました。

業績の状況につきましては、当第2四半期連結累計期間の売上高は販売数量の確保に注力し1,531億68百万円（前年同期比100.1%）となりました。損益面では、売上総利益は110億6百万円（前年同期比98.5%）となり、営業利益は販売費及び一般管理費の間接経費全般について節減等効率化を進め3億63百万円（前年同期比146.9%）、経常利益は5億19百万円（前年同期比107.3%）となりました。四半期純利益は、投資有価証券評価損61百万円の特別損失の計上により、3億41百万円（前年同期比180.1%）となりました。

グループ各社の連携を推進し、 水産物流通業界での競争優位を構築！

セグメントの業績は次のとおりであります。

<水産物荷受事業>

中央卸売市場を核とする集荷販売機能をもつ水産物荷受事業の売上高は、取扱数量は減少したものの販売単価の上昇により967億81百万円（前年同期比100.0%）、セグメント利益は仕入コストの増加などにより3億34百万円（前年同期比86.7%）となりました。

<市場外水産物卸売事業>

全国各地を網羅する販売拠点を活かした幅広い流通網をもつ市場外水産物卸売事業の売上高は、販売単価の上昇などにより563億27百万円（前年同期比100.7%）、セグメント利益は間接経費全般の節減に努めましたが仕入コストの増加により1億28百万円の損失（前年同期2億56百万円の損失）となりました。

<養殖事業>

九州、四国にてハマチ、ブリ、マグロの養殖を展開する養殖事業の売上高は、例年にない天然ブリの漁獲量の増加に伴う養殖ブリの販売数量の減少及び販売単価の低下により24億49百万円（前年同期比87.0%）、セグメント利益は給餌効率の改善などに努めましたが93百万円（前年同期比40.4%）となりました。

<食品加工事業>

消費地にある鮮魚加工センターにて輸入サーモンのフィレ加工及び量販店向けにおにぎり等米飯加工などを行う食品加工事業の売上高は、新規顧客の開拓に努め16億18百万円（前年同期比104.8%）、セグメント利益は低価格化や販売競争の激化、原材料価格の高騰などもあり1億32百万円の損失（前年同期1億51百万円の損失）となりました。

<物流事業>

物流センターにおいて、搬入された水産物等を量販店等

の配送先別に仕分けをし自社便にて配送を行う物流事業の売上高は、通過物量の減少などにより10億52百万円（前年同期比91.8%）、セグメント利益は48百万円の損失（前年同期42百万円の損失）となりました。

<その他>

グループの水産物流通を補完するリース事業等その他の売上高は20億8百万円（前年同期比106.0%）、セグメント利益は6百万円の損失（前年同期17百万円の利益）となりました。

今後の見通しにつきましては、円高の進行、海外経済の減速、雇用・所得環境の回復の遅れ、デフレの長期化、資源・食料価格の高騰など景気回復に向けて先行き不透明な状況にあります。

水産物流通業界におきましては、生活防衛意識の強まりから、消費者の購買意欲は低迷したまま販売競争が激化するなど厳しい経営環境下にあると予測されます。

このような経営環境に対応するために、当社グループは、コア事業である「水産物荷受事業」および「市場外水産物卸売事業」をさらに強化し、コア事業を支える「養殖事業」、「食品加工事業」、「物流事業」、「保険・リース事業」との連携を推進して競争優位を構築してまいります。

通期の連結業績につきましては、平成24年3月期売上高3,200億円、営業利益14億円、経常利益17億円、当期純利益14億円を見込んでおります。

期末の配当金につきましては、1株あたり6円を予定しております。

株主の皆様におかれましては、今後とも一層のご支援とご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

財務の概況

第2四半期連結貸借対照表

(単位:百万円)

科目	期別	当第2四半期 (平成23年9月30日現在)	前第2四半期 (平成22年9月30日現在)	前 期 (平成23年3月31日現在)
資産の部				
流動資産		51,740	50,386	45,681
現金及び預金		1,752	2,304	2,349
受取手形及び売掛金		28,654	28,383	26,512
商品及び製品		20,747	18,983	16,212
仕掛品		4	0	1
原材料及び貯蔵品		133	112	97
その他		1,399	1,546	1,452
貸倒引当金		△ 952	△ 944	△ 944
固定資産		20,964	21,185	20,946
有形固定資産		12,209	12,702	12,313
無形固定資産		2,848	2,107	2,489
投資その他の資産		5,906	6,375	6,143
投資有価証券		4,849	5,244	5,046
その他		2,359	2,741	2,448
貸倒引当金		△ 1,301	△ 1,610	△ 1,351
資産合計		72,704	71,572	66,628

(単位:百万円)

科目	期別	当第2四半期 (平成23年9月30日現在)	前第2四半期 (平成22年9月30日現在)	前 期 (平成23年3月31日現在)
負債の部				
流動負債		45,068	49,553	38,539
支払手形及び買掛金		20,026	20,962	17,469
短期借入金		19,500	19,640	15,550
1年内返済予定の長期借入金		1,355	4,698	1,399
未払法人税等		102	399	355
賞与引当金		789	767	719
その他		3,294	3,086	3,045
固定負債		13,108	8,344	13,512
長期借入金		6,711	1,821	6,924
退職給付引当金		2,438	2,270	2,396
役員退職慰労引当金		54	45	48
負ののれん		225	604	408
その他		3,679	3,602	3,734
負債合計		58,177	57,898	52,052

純資産の部				
株主資本		14,783	13,886	14,771
資本金		6,495	6,495	6,495
資本剰余金		6,153	6,153	6,153
利益剰余金		2,376	1,457	2,363
自己株式		△ 242	△ 220	△ 241
その他の包括利益累計額		△ 261	△ 216	△ 201
その他有価証券評価差額金		113	158	178
繰延ヘッジ損益		1	1	△ 2
土地再評価差額金		△ 377	△ 377	△ 377
少数株主持分		6	4	6
純資産合計		14,527	13,674	14,575
負債純資産合計		72,704	71,572	66,628

注記事項 記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

財務の概況

第2四半期連結損益計算書

(単位:百万円)

科目	期別	当第2四半期	前第2四半期	前 期
		〔自 平成23年4月 1日 至 平成23年9月30日〕	〔自 平成22年4月 1日 至 平成22年9月30日〕	〔自 平成22年4月 1日 至 平成23年3月31日〕
売上高		153,168	153,051	319,127
売上総価		142,161	141,878	296,128
売上総利益		11,006	11,173	22,999
販売費及び一般管理費		10,642	10,925	21,810
営業利益		363	247	1,189
営業外収益		382	405	799
受取利息		5	5	11
受取配当金		88	96	124
負ののれん償却額		182	196	392
その他		105	106	270
営業外費用		227	169	418
支払利息		165	138	272
持分法による投資損失		—	1	1
その他		61	29	144
経常利益		519	483	1,569
特別利益		—	338	526
投資有価証券売却益		—	301	340
固定資産売却益		—	37	37
受取保険金		—	—	35
その他		—	—	113
特別損失		61	147	470
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額		—	65	65
投資有価証券評価損		61	54	65
事業整理損		—	27	—
災害による損失		—	—	135
減損損失		—	—	39
固定資産除却損		—	—	38
関係会社株式評価損		—	—	20
その他		—	—	105
税金等調整前四半期(当期)純利益		457	675	1,626
法人税、住民税及び事業税		53	336	341
法人税等調整額		61	147	185
法人税等合計		115	483	527
少数株主損益調整前		342	191	1,098
四半期(当期)純利益		0	2	3
少数株主利益		0	2	3
四半期(当期)純利益		341	189	1,095

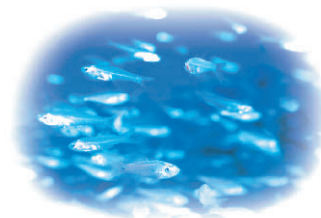
注記事項 記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

第2四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

科目	期別	当第2四半期	前第2四半期	前 期
		〔自 平成23年4月 1日 至 平成23年9月30日〕	〔自 平成22年4月 1日 至 平成22年9月30日〕	〔自 平成22年4月 1日 至 平成23年3月31日〕
I. 営業活動によるキャッシュ・フロー		△ 3,411	△ 3,103	△ 484
II. 投資活動によるキャッシュ・フロー		△ 240	104	115
III. 財務活動によるキャッシュ・フロー		3,075	2,697	112
IV. 現金及び現金同等物に係る換算差額		—	—	—
V. 現金及び現金同等物の増減額(△は減少)		△ 576	△ 301	△ 256
VI. 現金及び現金同等物の期首残高		2,314	2,571	2,571
VII. 現金及び現金同等物の四半期末(期末)残高		1,738	2,270	2,314

注記事項 記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。



OUGホールディングス株式会社

会社概要

主要な事業内容 定款に定められた事業を営むこと、ならびに定款で定められた事業を営む会社およびこれに相当する事業を営む外国会社の株式もしくは持分を保有することにより、当該会社の事業活動を支配、管理することおよびこれに関連する業務を行うことを目的としております。

設立 昭和21年6月12日(創業 昭和22年10月)
資本金 6,495百万円
発行済株式総数 55,622,921株
従業員数 33名

役員 の 体制

取締役	代表取締役社長	谷川正俊
	取締役	下川真二
	取締役	村松保範
	取締役	増田安利
	取締役	三輪光幸
	取締役	薄波卓郎
監査役	常勤監査役	角田晴夫
	監査役	谷和道雄
	監査役	村中義美 (社外監査役)
	監査役	岡本宏孝 (社外監査役)
相談役	相談役	溝上源二
顧問	顧問	竹西俊之助
	顧問	久井惠之助
執行役員	常務執行役員	原田史郎
	常務執行役員	中江一夫
	執行役員	玉田耕也

株式の状況

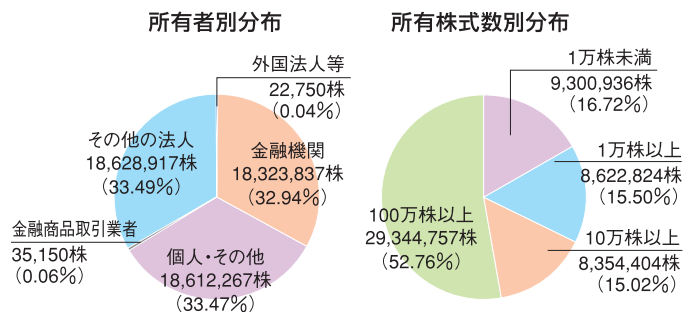
発行可能株式総数	209,159,000株
発行済株式の総数	55,622,921株
株主数	6,973名

大株主(上位10名)

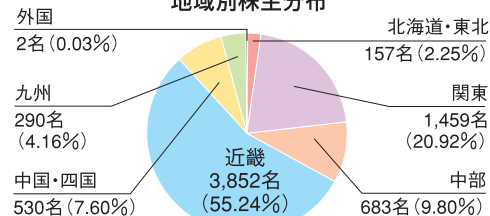
株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
株式会社 マルハニチロホールディングス	7,450	13.51
日本生命保険相互会社	3,680	6.67
農林中央金庫	2,636	4.78
株式会社 みずほ銀行	2,415	4.38
丸紅株式会社	2,000	3.63
株式会社 りそな銀行	1,842	3.34
株式会社 三菱東京UFJ銀行	1,742	3.16
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社 (中央三井アセット信託銀行再信託分・CMTB エクイティンベストメンツ株式会社信託口)	1,600	2.90
三菱UFJ信託銀行株式会社	1,519	2.75
株式会社 大丸松坂屋百貨店	1,154	2.09

(注) 持株比率は、自己株式(473,568株)を控除して計算しております。

株式分布



地域別株主分布



新しい「水産物流通サービス業」の実現に向けて、 事業間の連携をさらに強化し、相乗効果を発揮!

■ コア事業を支える「物流事業」、「保険・リース事業」

当社グループは、「水産物荷受事業」と「市場外水産物卸売事業」の2つのコア事業を中心に「養殖事業」、「食品加工事業」、「物流事業」、「保険・リース事業」を展開しております。今回は、その中でコア事業を支える事業のうち「物流事業」、「保険・リース事業」についてご紹介いたします。

物流事業 **舞洲流通センター株式会社**

同社は、鮮魚を中心とした水産物およびチルド加工品を仕分け配送する物流事業会社です。

全国の産地、メーカーより搬入された商品を、一貫した温度管理により各取引先（スーパー、百貨店等）の配送先別に仕分けし、365日・24時間体制で配送を行っております。

また、設備の機能を活かし、ホテル、百貨店のギフト配送など、在庫管理も含めて、受注から配送まで一貫した独自の物流システムにより幅広く対応しております。

同社は、グループ内外を問わず積極的な活動を展開するとともに、付加価値の高い物流サービスを提供しております。



保険・リース事業 **株式会社トップ**

同社は、車両、機械設備、パソコンなど幅広くリースを行い、グループ内での費用対効果や経費節減の向上に大きな役割を担っております。

さらに、従業員の自動車保険・傷害保険・がん保険などの各種保険も取扱い、グループ内での保険代理店の立場から専門的なアドバイザーとして、グループで働く従業員をサポートしております。



OUGグループ

OUGホールディングス(株)

◆ 水産物荷受事業 (株)うおいち

◆ 市場外水産物卸売事業 (株)ショクリュー

◆ 養殖事業 (株)兵殖

◆ 食品加工事業
関空トレーディング(株)
ダイワサミット(株)
(株)トウニチ水産

◆ 物流事業
舞洲流通センター(株)

◆ 保険・リース事業
(株)トップ

株主メモ

事業年度	4月1日から翌年3月31日
期末配当金受領株主確定日	3月31日
定時株主総会	毎年6月
株主名簿管理人 特別口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同連絡先	三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部 〒541-8502 大阪市中央区伏見町三丁目6番3号 TEL 0120-094-777 (通話料無料)

- 株券電子化に伴い、株主様の住所変更等の各種手続きにつきましては、口座を開設されている証券会社等にお問合せください。
- 特別口座に登録された株式に関する各種手続き用紙のご請求につきましては、三菱UFJ信託銀行(口座管理機関)の以下のお電話およびインターネットでも24時間承っております。
 - ・ 東京 TEL 0120-244-479 (通話料無料)
 - ・ 大阪 TEL 0120-684-479 (通話料無料)

<http://www.tr.mufg.jp/daikou/>

上場金融商品取引所	大阪証券取引所市場第一部 (証券コード 8041)
公告方法	電子公告の方法により行います。ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告ができない場合は、日本経済新聞に掲載します。 公告掲載の当社ホームページアドレス http://www.oug.co.jp

免責条項

本報告書に掲載している将来に関する予想については、現在入手可能な情報から得られた当社の経営者の判断に基づいております。

実際の業績は、さまざまな要因の変化により、異なる場合があることをご承知おきください。

Web Information

当社ホームページでは、当社の最新ニュースを株主・投資家の皆様に向け、発信しております。IRニュースや決算発表を行うページ、グループ各社の紹介等、様々な情報を掲載しておりますので、是非ご活用ください。

GROUP
VISION

COMPANY
PROFILE



TOP PAGE

OUGホールディングス株式会社

〒553-0005 大阪市福島区野田2丁目13番5号
うおいちニッセイビル5階
TEL:06-4804-3031 FAX:06-4804-3145
URL <http://www.oug.co.jp>

<http://www.oug.co.jp>